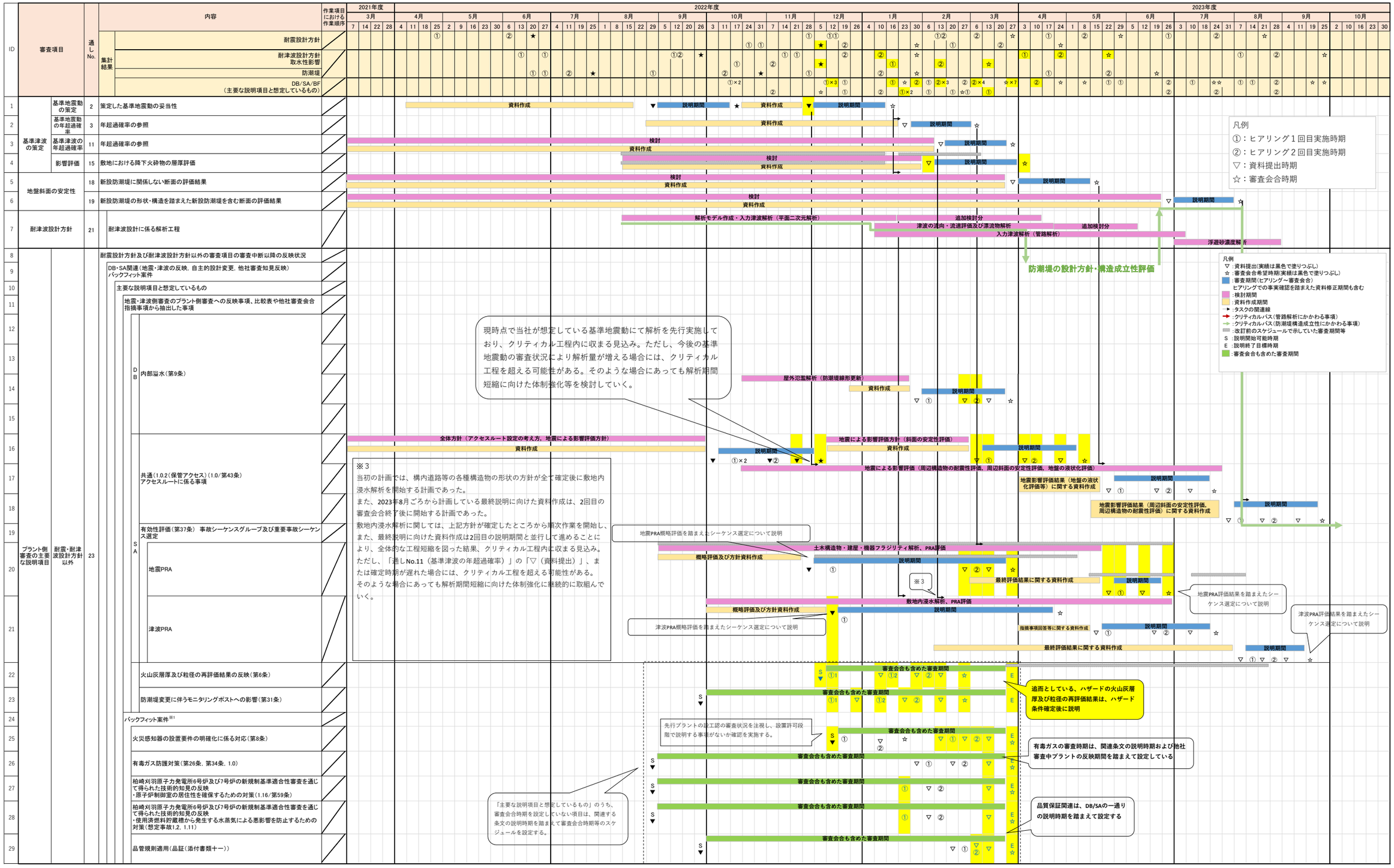
資料２

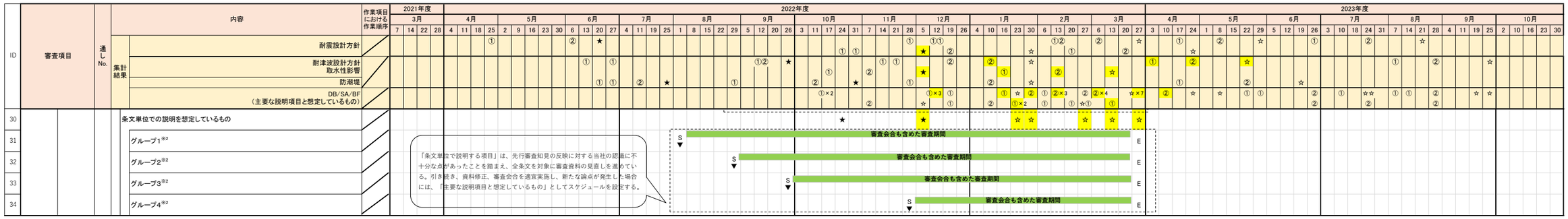
2022年12月22日
北海道電力株式会社

泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール



泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2022年12月22日
北海道電力株式会社



※1
■バックフィットに係る審査スケジュールは、プラント側の関連する審査項目の確認を踏まえたスケジュールとする。
■以下のバックフィット案件のスケジュールについては各条文のスケジュールの中に含む。
・「地震時の燃料被覆材の放射性物質の閉じ込め機能に係る措置（第4条)」については耐震設計方針
・「溢水による放射性物質を含んだ液体の管理区域外漏えい防止対策（第9条）」については内部溢水（第9条）
■なお、本スケジュールに記載のないバックフィット案件については、設工認等で説明予定。

※2【グループ１】
追而ありの場合は、ハザード側の審議によらない追而の解消時期を記載している。

・不法な侵入（第7条）
・誤操作の防止（第10条）
・安全避難通路（第11条）
・安全施設（第12条）
・全交流電源喪失（第14条）
・［追而あり］RCPB（第17条）
・安全保護回路（第24条）
・［追而あり_2023年1月］保安電源（第33条）

※2【グループ２】
追而ありの場合は、ハザード側の審議によらない追而の解消時期を記載している。また、解消時期の「＊」は「2023年1月（アクセスルートの変更反映）」を示す。

・外部事象（第6条）竜巻に対する設計方針
・［追而あり］外部事象（第6条）火山事象に対する設計方針（上記スケジュール記載部分を除く）
・［追而あり_2023年1月］外部事象（第6条）外部火災に対する設計方針
・［追而あり_2023年3月］外部事象（第6条）その他自然現象等に対する設計方針
・［追而あり_2023年2月等］内部溢水（第9条）（上記スケジュール記載部分を除く）
・SFP（第16条）
・［追而あり］原子炉制御室（第26条）
・［追而あり_2023年3月］緊急時対策所（第34条）
・有効性評価（第37条）CV温度圧力
・有効性評価（第37条）炉心　２次冷却系からの除熱機能喪失
・［追而あり_＊］有効性評価（第37条）炉心　全交流動力電源喪失
・［追而あり_＊］有効性評価（第37条）炉心　原子炉補機冷却機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　原子炉格納容器の除熱機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　原子炉停止機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　ECCS注水機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　ECCS再循環機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　格納容器バイパス（インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損）
・［追而あり_2023年3月等］有効性評価（第37条）CV　過圧破損
・［追而あり_＊］有効性評価（第37条）CV　過温破損
・有効性評価（第37条）CV　DCH
・［追而あり_＊］有効性評価（第37条）CV　FCI
・有効性評価（第37条）CV　水素燃焼
・有効性評価（第37条）CV　MCCI
・［追而あり］有効性評価（第37条）SFP　想定事故１
・［追而あり］有効性評価（第37条）SFP　想定事故２
・［追而あり_＊］有効性評価（第37条）停止時　崩壊熱除去機能喪失
・［追而あり_＊］有効性評価（第37条）停止時　全交流動力電源喪失
・有効性評価（第37条）停止時　原子炉冷却材の流出
・有効性評価（第37条）停止時　反応度誤投入
・［追而あり_＊］共通（1.0.2（保管アクセス）以外）（第43条）
・ATWS（1.1/第44条）
・高圧時冷却（1.2/第45条）
・減圧（1.3/第46条）
・［追而あり_＊］低圧時冷却（1.4/第47条）
・［追而あり_＊］最終ヒートシンク（1.5/第48条）
・［追而あり_＊］CV冷却（1.6/第49条）
・［追而あり_2023年3月等］CV過圧破損防止（1.7/第50条）
・CV下部注水（1.8/第51条）
・［追而あり_＊］CV水素対策（1.9/第52条）
・RB水素対策（1.10/第53条）
・［追而あり_2023年3月］SFP（1.11/第54条）
・［追而あり_＊］放射性物質の拡散抑制（1.12/第55条）
・［追而あり_2023年3月等］水源（1.13/第56条）
・［追而あり_＊］電源（1.14/第57条）
・計装（1.15/第58条）
・［追而あり_2023年3月］原子炉制御室（1.16/第59条）
・［追而あり_2023年3月等］緊急時対策所（1.18/第61条）

※2【グループ３】
追而ありの場合は、ハザード側の審議によらない追而の解消時期を記載している。

・［追而あり_2023年2月］内部火災（第8条）
・監視設備（第31条)　（上記スケジュール記載部分を除く）
・通信連絡設備（第35条）
・［追而あり_2023年2月］火災（第41条）
・［追而あり_2023年3月等］共通（1.0.2（保管アクセス）以外）（1.0）
・［追而あり_2023年3月］監視測定（1.17/第60条）
・通信連絡（1.19/第62条）
・技術的能力（添付書類五）

※2【グループ４】
追而ありの場合は、ハザード側の審議によらない追而の解消時期を記載している。

・［追而あり_2023年3月］有効性評価（第37条）事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス選定（上記スケジュール記載部分を除く）
・［追而あり_2023年3月］大規模損壊（2.1）

泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2022年12月22日
北海道電力株式会社

ID	内容	作業項目における作業順序
1	耐震設計方針（第4条，第39条） ※第3条，第38条の設備の地盤への対処も含む	4条耐震にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
2	【BF】地震時の燃料被覆管の放射性物質の閉じ込め機能の維持	4条耐震にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
3	【BF】地震時の動的機能維持評価	4条耐震にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
4	耐津波設計方針（第5条，第40条）	5条耐津波にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
5	防潮堤	5条耐津波にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
6	外部事象（第6条） ・竜巻に対する設計方針	
7	・火山事象に対する設計方針	
8	【BF】降下火砕物の影響評価	BFの対応は，「外部事象（第6条）_火山事象に対する設計方針」の審査に含めて説明する
9	・外部火災に対する設計方針	
10	・その他自然現象等に対する設計方針	
11	不法な侵入（第7条）	
12	内部火災（第8条）	
13	【BF】火災感知器の設置要件等に関する関係審査基準の改正	BFの対応は，「内部火災（第8条）」の審査に含めて説明する
14-1	内部溢水（第9条） a：防護対象の選定（基本方針、別添、補足を含む）	
14-2	b：基本方針（本文、添付八）	
14-3	c：別添、補足 1回目（評価方針に係るもの）	
14-4	c：別添、補足 2回目（評価結果に係るもの）	
15	DB 【BF】内部溢水による管理区域外への漏えいの防止	BFの対応は，「内部溢水（第9条）」の審査に含めて説明する
16	誤操作の防止（第10条）	
17	安全避難通路（第11条）	
18	安全施設（第12条）	
19	全交流電源喪失（第14条）	
20	SFP（第16条）	
21	RCPB（第17条）	
22	安全保護回路（第24条）	
23	原子炉制御室（第26条）	
24	監視設備（第31条）	
25	保安電源（第33条）	
26	緊急時対策所（第34条）	
27	通信連絡設備（第35条）	
28	【BF】有毒ガス	「主要な説明項目と想定しているもの」にて工程を管理するため、本資料では説明スケジュールを設定せず

集計結果：耐震設計方針／耐津波設計方針 取水性影響／防潮堤／DB/SA/BF（主要な説明項目と想定しているもの）／DB/SA（条文単位での説明を想定しているもの）

2022年度：7月 4 11 19 25 ／ 8月 1 8 15 22 29 ／ 9月 5 12 20 26 ／ 10月 3 11 17 24 31 ／ 11月 7 14 21 28 ／ 12月 5 12 19 26 ／ 1月 4 10 16 23 30 ／ 2月 6 13 20 27 ／ 3月 6 13 20 27
2023年度：4月 3 10 17 24 ／ 5月 1 8 15 22 29 ／ 6月 5 12 19 26 ／ 7月 3 10 18 24 31 ／ 8月 7 14 21 28 ／ 9月 4 11 19 25 ／ 10月 2 10 16 23 30

凡例
①：ヒアリング１回目実施時期
②：ヒアリング２回目実施時期
▽：資料提出時期
☆：審査会合時期

黄色網掛け、青字は、前回説明時からの変更箇所を示す。

【第6条、8条、41条の補足】
a：防護対象の選定（基本方針、別添、補足を含む）
b：基本方針（本文、添付八）
c：別添、補足

「▽」は、②と☆を兼ねた資料提出とする

6.8.9条 共通で実施

泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2022年12月22日
北海道電力株式会社

ID	内容				作業項目における作業順序
	集計結果			耐震設計方針	
				耐津波設計方針 取水性影響	
				防潮堤	
				DB/SA/BF（主要な説明項目と想定しているもの）	
				DB/SA（条文単位での説明を想定しているもの）	
29	有効性評価（第37条）	SA	PRA	Lv 1	
30				Lv 1.5	
31				停止時	
32				地震	
33				津波	
34			事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス		
35			解析コード		
36			CV温度圧力		
37			炉心	２次冷却系からの除熱機能喪失	
38				全交流動力電源喪失	
39				原子炉補機冷却機能喪失	
40				原子炉格納容器の除熱機能喪失	
41				原子炉停止機能喪失	
42				ECCS注水機能喪失	
43				ECCS再循環機能喪失	
44				格納容器バイパス（インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損）	
45			CV	過圧破損	
46				過温破損	
47				DCH	
48				FCI	
49				MCCI	
50				水素燃焼	
51			SFP	想定事故１	
52				想定事故２	
53			停止時	崩壊熱除去機能喪失	
54				全交流動力電源喪失	
55				原子炉冷却材の流出	
56				反応度誤投入	
57	有効性評価（第3条）	設備・技術的能力	1.0 43条	共通（1.0.2（保管アクセス）以外）【1.0】	
58				共通（1.0.2（保管アクセス）以外）【43条】	
59				共通（1.0.2（保管アクセス））【1.0/43条】	
60			1.1 44条	ATWS	
61			1.2 45条	高圧時冷却	
62			1.3 46条	減圧	

2022年度：7月 4 11 19 25 ／ 8月 1 8 15 22 29 ／ 9月 5 12 20 26 ／ 10月 3 11 17 24 31 ／ 11月 7 14 21 28 ／ 12月 5 12 19 26 ／ 1月 4 10 16 23 30 ／ 2月 6 13 20 27 ／ 3月 6 13 20 27

2023年度：4月 3 10 17 24 ／ 5月 1 8 15 22 29 ／ 6月 5 12 19 26 ／ 7月 3 10 18 24 31 ／ 8月 7 14 21 28 ／ 9月 4 11 19 25 ／ 10月 2 10 16 23 30

耐震設計方針：①　①①　①②　①　②　①　②　☆　①　②　☆　☆

耐津波設計方針 取水性影響：①②　★　①　①　①　①　②　②　①　②　①　②　☆　①　②　☆　①　②　☆

防潮堤：②　★　①　②　①　★　①　②　①　②　①　②　☆　②　①　②　☆　①　②　☆　☆

DB/SA/BF（主要な説明項目と想定しているもの）：①×2　①×3　①　①　☆　①×2　②　①　②×3　②　②×4　☆×7　②　☆　☆　①　①　②　②　①　☆☆　①　①　②　②　☆　☆

DB/SA（条文単位での説明を想定しているもの）：★1　☆8　☆10　☆21　☆10　☆23

Lv 1：▼①　▽②▽☆

Lv 1.5：▼①　▽②▽☆

停止時：▼①　▽②▽☆

「主要な説明項目と想定しているもの」にて工程を管理するため、本資料では説明スケジュールを設定せず

「主要な説明項目と想定しているもの」にて工程を管理するため、本資料では説明スケジュールを設定せず

事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス：▼①　▽②▽☆

解析コード：PWR合同で審査を実施しているが、最新知見の反映に関する対応は「有効性評価（第37条）」の審査に含めて説明する

CV温度圧力：▼　▽①　▽②▽☆

２次冷却系からの除熱機能喪失：▼　▼①　▼②　▽　☆

全交流動力電源喪失：▼　▼①　▼②　▼　▼☆　▽①▽　☆

原子炉補機冷却機能喪失：▼　▼①　▽　☆

原子炉格納容器の除熱機能喪失：▼　▼①　▽②▽　☆

原子炉停止機能喪失：▼　▼①　▽　☆

ECCS注水機能喪失：▼　▼①　▽②▽　☆

ECCS再循環機能喪失：▼　▽①　▽②▽　☆

格納容器バイパス（インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損）：▼　▽①　▽②▽　☆

過圧破損：▼　▽①　▽②▽　☆

過温破損：▼　▽①　▽②▽　☆

DCH：▼　▽①　▽②▽　☆

FCI：▼　▽①　▽②▽　☆

MCCI：▼　▽①　▽②▽　☆

水素燃焼：▼　▽①　▽②▽　☆

想定事故１：▼①　▽②　▽　☆

想定事故２：▼①　▽②　▽　☆

崩壊熱除去機能喪失：▼　▽①　▽②▽　☆

全交流動力電源喪失：▼　▽①　▽②▽　☆

原子炉冷却材の流出：▼　▽①　▽②▽　☆

反応度誤投入：▼　▽①　▽②▽　☆

共通（1.0.2（保管アクセス）以外）【1.0】：▼　▽①　▽②▽　☆

共通（1.0.2（保管アクセス）以外）【43条】：▼　▼①　▽②　▽　☆

共通（1.0.2（保管アクセス））【1.0/43条】：「主要な説明項目と想定しているもの」にて工程を管理するため、本資料では説明スケジュールを設定せず

ATWS：▼　▽①　▽②▽　☆

高圧時冷却：▼　▼①　▽②　▽　☆

減圧：▼　▼①　▽②　▽　☆

「有毒ガス」に関連する本文と添付資料1.0.10「SA体制」の資料を提出

残りの資料を提出

【SA有効性評価（ID36～ID56）の補足】
(1) ２月下旬までに一通りの説明完了
(2) ３月中にコメント回答をし、審査会合完了
(3)基本的には炉心損傷防止から順に実施

【SA設備・技術的能力（ID57～ID76）の補足】
(1) 本文と本文の図表のみ（添付資料は除く）を対象として約３週に1回の頻度で設定する。
(2)添付資料は、各条の整合確認後に提出する。

泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2022年12月22日
北海道電力株式会社

ID	内容				作業項目における作業順序
	集計結果			耐震設計方針	
				耐津波設計方針 取水性影響	
				防潮堤	
				DB/SA/BF （主要な説明項目と想定しているもの）	
				DB/SA （条文単位での説明を想定しているもの）	
63	SA 設備・技術的能力	1.4	47条	低圧時冷却	
64		1.5	48条	最終ヒートシンク	
65		1.6	49条	CV冷却	
66		1.7	50条	CV過圧破損防止	
67		【BF】KK67号炉の技術的知見の反映(過圧破損)			泊3号に該当しないため説明スケジュールを設定せず
68		1.8	51条	CV下部注水	
69		1.9	52条	CV水素対策	
70		1.10	53条	RB水素対策	
71		1.11	54条	SFP	
72		【BF】KK67号炉の技術的知見の反映(SFP蒸気影響)			「主要な説明項目と想定しているもの」にて工程を管理するため、本資料では説明スケジュールを設定せず
73		1.12	55条	放射性物質の拡散抑制	
74		1.13	56条	水源	
75		1.14	57条	電源	
76		1.15	58条	計装	
77		1.16	59条	原子炉制御室	
78		【BF】KK67号炉の技術的知見の反映(MCR居住性)			「主要な説明項目と想定しているもの」にて工程を管理するため、本資料では説明スケジュールを設定せず
79		1.17	60条	監視測定	
80		1.18	61条	緊急時対策所	
81		1.19	62条	通信連絡	
82		2.1	ー	大規模損壊	
83	共通	地質（第38条）			DB側に同じ
84		地震動（第38,39条）			DB側に同じ
85		津波（第40条）			DB側に同じ
86		火災（第41条）			
87	技術的能力（添付書類五）				
88	品証（添付書類十一）				「主要な説明項目と想定しているもの」にて工程を管理するため、本資料では説明スケジュールを設定せず

【第6条、8条、41条の補足】
a：防護対象の選定（基本方針、別添、補足を含む）
b：基本方針（本文、添付八）
c：別添、補足

「▽」は、②と☆を兼ねた資料提出とする

品質保証関連を一部含むことから、DB/SAの一通りの説明時期を踏まえて設定する